

ごみ減量とリサイクルの検討状況は？

容器包装プラスチックの リサイクル品目拡大の検討状況は？

区：容器包装プラスチックリサイクルは、半分程度残渣が出て、焼却や固形燃料化しているのが実態と聞く。シャンプーなどのボトルも3～4割しかマテリアル（材料）リサイクルできないとのこと。技術革新の状況を確認して検討する。生産者責任について問題提起していきたい。色つきトレイの回収は純度が下がってしまうので考えていない。

せの：焼却よりはリサイクル優先が国の方針。**区もリサイクルを優先すべき**。トレイの色つきラッピングをはがす事業を障がい者の就労先として取組んでいる自治体もある。色つきトレイのリサイクルが困難なら、区民に啓発して、スーパーなどの業界への働きかけや購入を控えるなどの区民運動を支援することも必要。

発泡スチロールの回収の検討は？

区：発泡スチロールの回収については、集団回収がいいのか、拠点回収がいいのか検討している。電気や食品業の店舗の発泡スチロールは、産業廃棄物で、東京都の管轄になる。

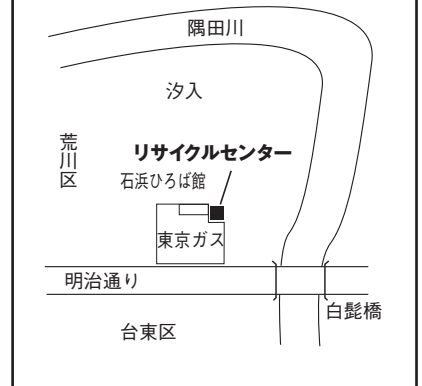
バイオマス（建築廃材・公園の雑草や剪定枝・ 生ごみ・廃食油など）の検討状況は？

区：建築廃材は東京都が担当、雑草・剪定枝は公園緑地課と検討中、生ごみは研究中

せの：荒川区内には様々なバイオマスが存在する。バイオマスや廃プラスチックのリサイクルの現状と課題を、HPなどで公表し、区民運動として、ごみ減量・リサイクル推進に取り組んで欲しい。

23区の中でも最低レベルの
後進区になってしまった荒川区

9区が全面的に取り組み始めた容器包装リサイクル。環境先進都市を掲げている荒川区が、積極的に取り組まないのは納得できない。やっと、南千住の東京ガス敷地の一角にリサイクルセンターをつくることが決まった。区内に多い資源循環業者の活用で、リサイクルに積極的に取り組んで欲しい。



千葉市が生ごみ分別回収を開始！！



生ごみを黄色の専用袋に入れ、バケツに入れて保管。週2回ごみステーションにおいて、可燃ごみと分けて、パッカー車で別々に収集。専用袋とバケツは市が無料配布。市内のメタン発酵ガス化施設で再資源化。昨年度は2600世帯が参加。

実績：2007年度 35トン 2008年度（09年2月まで）166.3トン

生ごみは可燃ごみの
4割を占め、水分を
燃やしているような
もの。資源化を目指
すべきだ！！

我が家はマンションのベランダで生ごみコンポストを始めて、18年。生ごみは、土と混ぜるだけで土に姿を変える。本当にごみの量が少なくなる。荒川区のエコセンター（旧保健所）でコンポストの紹介をしている。興味のある方は、ぜひ、連絡して下さい。

でも、誰もが、参加できる方法としては、生ごみの分別回収であろう。行政が、分別と回収の方法を区民に提案していくことが必要。荒川区でも是非モデル事業を始めて欲しい。

